

千葉県

北総線矢切駅における災害対応訓練

松戸市消防局

平成24年12月12日、千葉県松戸市消防局は、北総鉄道が実施する異常時対応訓練に併せ、北総線矢切駅で、負傷者10名を含む多数の傷病者、列車を使用した地下駅火災への対応等を想定した実践訓練を行いました。

当消防局は、北総線沿線の市川市消防局、鎌ヶ谷市消防本部とともに、千葉県警松戸警察署の協力のもと、二次災害の防止、避難誘導、応急救護所の設置、トリアージ等の連携活動を行いました。本訓練の諸課題を踏まえ、迅速な対応と円滑な連携活動を目指し訓練強化に取り組んで参ります。



関係機関との初動体制

神奈川県

消防・警察・救急医療チーム合同訓練を実施

横浜市消防局西消防署

平成24年11月21日、横浜市消防局西消防署は、西区を管轄する神奈川県戸部警察署と横浜市立大学救急医療チーム（YMAT）と連携し「暴走車両による集団救急事故発生」を想定した救急連携訓練を実施。

訓練は、横浜ランドマークタワーに面する広場を訓練会場に、暴走車両による交通事故発生から始まり、警察官による被疑者の確保と消防隊との連携、消防隊及び救急隊のYMATと連携したトリアージ、救護活動等各機関との災害発生時の連携要領を確認しました。今後も検証を続け、三機関の連携を強化して参ります。



消防隊と救急隊によるトリアージ訓練

神奈川県

陸と空から西丹沢を守る

足柄消防組合消防本部

平成24年11月27日、神奈川県内最高峰である山北町西丹沢の蛭ヶ岳山頂で、足柄消防組合消防本部は横浜市消防局航空隊と合同山岳救助訓練を実施しました。

近年の登山ブームで入山者増加とともに事故も増え、早期発見と医療機関への素早い搬送対応が急務となっています。このため、遭難者に見立てた隊員を航空隊ヘリコプターにより吊上げ收容、医療機関に搬送する想定訓練を実施。これによって搬送すれば、3～5時間の短縮が見込めるなど、傷病者の社会復帰率向上に大きな力になると確信しました。



ヘリコプターによる遭難者救助訓練

愛知県

東名高速道路における合同消防訓練

豊川市消防本部

平成24年11月30日、当本部は、東名高速道路で観光バスを含む多重衝突事故による多数の負傷者発生を想定した訓練を実施。県下高速道路消防連絡協議会協賛のもと、豊橋、新城両市消防本部、県境を挟む浜松市消防局、愛知県防災航空隊、高速道路交通警察隊、中日本高速道路、車両16台、ヘリコプター1機、総勢64名が参加しました。

参加者が円滑で効果的な相互協力体制確立を目的に、交通規制、避難誘導、人命救助、消火活動等、実践訓練を実施。今後も関係機関の協力を得て訓練を重ねて参ります。



指揮訓練風景

警察と合同で歳末出動式を実施

湖南広域消防局

平成24年12月1日、湖南広域消防局と滋賀県警察（草津警察署・守山警察署）が栗東市内と守山市内で合同歳末特別警戒出動式を実施。

出動式は、東日本大震災を受け、“市民の安心安全”という同じ目的を持つ消防と警察が協働し、相互の連携強化と年末年始における防火・防犯の強化を目的に実施したもので、服装点検、車両点検のほか、警察署長と消防局長が訓示を述べました。

出動式の後、守山市内の商店街で防火・防犯啓発パレードを行い、住民の皆さんに防火・防犯への協力を呼びかけました。



防火・防犯啓発パレード

消防情報システムの共同運用に係る協定書調印式

枚方寝屋川消防組合・交野市消防本部

平成25年1月7日、枚方寝屋川消防組合及び交野市消防本部は、消防情報システムの共同運用整備に係る協定書調印式を開催しました。

現在、それぞれ単独で行っている消防指令業務を平成27年度から共同で行うことにより、消防情報システムの初期整備経費をはじめ人件費、維持管理費等の経費を削減するとともに、両消防本部間の隣接地域などで相互出動したり、大規模災害発生時の応援体制を強化したりするなど枚方市、寝屋川市、交野市民の安全と安心のさらなる向上を図ります。



調印を交わした中田交野市市長と竹内枚方寝屋川消防組合管理者（枚方市長）と太田寝屋川市副市長

泉佐野市消防音楽隊第13回演奏会実施！！ ～みんなに届け！防火の願い～

泉佐野市消防本部

平成24年12月2日、泉佐野市消防本部は、泉佐野市火災予防協会との共催により、市民に「消防」への理解を深めていただくため消防音楽隊第13回演奏会を開催。

消防音楽隊による子供からお年寄りまで楽しめる楽曲演奏、泉南市立一丘中学校吹奏楽部による演奏とマーチング、泉佐野市立つばさ幼稚園の幼年消防クラブの園児による歌やダンス、泉佐野市少年消防クラブの「泉佐野横断ウルトラクイズ」、そして泉佐野市消防団による生オケなど、多彩な内容で広く市民に火災予防を呼びかけました。



市内大ホールで開催された第13回演奏会

第27回消火競技大会実施

三原市消防本部

平成24年11月9日、三原市消防本部は、第27回消火競技大会を実施。消火技術の向上と自主防災体制確立の推進を目的として開催された大会に、管内事業所のうち54事業所から124名が参加しました。

競技では、通報内容の正確さ、避難、初期消火における正確な動作、時間等が競われました。どの参加選手も大きな声と機敏な動作で、各事業所の自衛消防隊が平素から励んできた訓練の成果を発揮しました。

今後も、官民一体となった事業に取り組み、防火意識の高揚と初期消火技術の向上を目指して参ります。



消火競技大会の光景

消防通信／望楼では、全国の消防本部、消防団からの投稿を随時受け付けています。

ご投稿は、「E-mail:bourou-fdma@ml.soumu.go.jp」まで【225文字以内の原稿とJPEG画像を別ファイルで送付してください】